

ソフトバンク株式会社 第38回定時株主総会 株主さまから寄せられたご質問等

お時間の関係で株主総会当日に回答できなかったご質問を含め、株主の皆さまよりお寄せいただきました全質問につきまして、以下のとおり、回答とともに公開いたします。ご質問と回答につきましては、読みやすさ、理解の正確性等の観点から一部要約・補足等をして掲載しております。また、複数の株主さまよりいただいた同趣旨の質問につきましては、まとめて回答いたしておりますのでご了承ください。

種別	ご質問	回答
1 事前質問 (ネット)	株式分割や株主優待制度の決定に至った背景や経緯を教えてください。また、優待は保有数に応じて変更しないのか。	当社の経営に関する建設的な意見をくださる若い株主層が増えることは、当社の中長期的な成長につながると考えています。若い方が購入しやすくなることを目的に、このたび株式分割および株主優待制度を導入しました。PayPayポイント1,000円分を株主優待として提供することで、PayPay経済圏の利用を促進する狙いもあります。 ご参考) 株主優待の詳細については、プレスリリースをご確認ください。 https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2024/20240425_01/
2 事前質問 (ネット)	株式分割により、株価の上昇が望めなくなるのではないのか。	株価とは本来、株式分割に左右されるものではなく、業績などに連動するものだと考えます。今後、利益の成長を示していきたいと思っております。
3 事前質問 (ネット)	LINEヤフーの資本関係の見直しの状況や、今後の見直しについて教えてください。	LINEヤフー（株）からの要請に基づき、セキュリティガバナンスや事業戦略の観点で、NAVERとの間で継続的に協議を行っています。現時点では具体的な合意には至っていませんが、LINEヤフー（株）の将来を考慮し、可能な限りの支援を行いたいと考えています。 相手のあることなので、いつ頃合意できるかなどはお答えできませんが、引き続き協議を重ねていきます。
4 事前質問 (ネット)	昨今の企業運営にコンプライアンスは欠かせないが、法務/リスクに精通する取締役が社外取締役1名では少ないのではないのか。	当社では、監査役を含めると3名の役員が法務・リスクマネジメントの分野に強みを持っています。また、コンプライアンスは非常に重要であることから、コンプライアンス部門を社長の直下に設置した上で、専門知識を持つ執行役員がコンプライアンスの推進を徹底しています。 取締役会は、これらが機能しているか確認する役割を担いますので、十分な体制であると考えています。
5 事前質問 (ネット)	女性活躍が大切と言われて折、取締役に女性を選任されている努力は見られるが、社外ばかりで、社内には一人もいないのはなぜか。	この課題は非常に重要だと認識し、生え抜きの女性取締役を育成する取り組みを積極的に進めています。従来、通信業界は男性従業員の比率が高く、結果的に女性の管理職の割合が低い傾向にあり、10年前の当社は、女性管理職の比率が5%以下という状況でした。 この課題を解決するため、女性活躍推進委員会を設立し、全社的に取り組んできました。私自身がその取りまとめを務め、ジェンダー問題の知見が深い、越取締役にもアドバイスをもらっています。 その結果、2024年4月現在、女性管理職の比率が9.2%まで上昇しました。2035年度末までに20%まで引き上げる目標を掲げ、引き続き取り組んでいきます。
6 事前質問 (ネット)	取締役が慣れ親しんだメンバー構成になっているのではないのか。生え抜き社員の登用、育成にも力を入れてほしい。	現在の経営陣が以前から大きく変わっていないというのは事実だと認識しています。私が社長に就任した際、特に携帯電話料金の値下げが大きな経営課題だったため、この経験豊富な現メンバーで乗り越えることを最優先にして取り組んできました。 苦しい状況から抜け出すことができましたので、今年から社内の体制変更を実施しました。これからは順次、継承を進めつつ、次世代にバトンを渡していく予定です。 次の取締役候補として、常務や本部長から多くの有望な人材が台頭していますので、大きな期待を寄せています。
7 事前質問 (ネット)	宮内氏は大変貢献された方だと思うが、功労金などを渡すのか。	宮内さんの功績は非常に素晴らしいと考えています。この功績は国にも認められ、昨年、旭日重光章を受勲されました。ソフトバンクと言えば孫さんが象徴的ですが、実は孫さんと宮内さんの絶妙なコンビネーションで成り立っていました。 孫さんの大胆でスケールの大きなアイデアを、宮内さんが確実に現場で指揮を執り、実行してきたおかげで、現在のソフトバンクの姿があると考えています。ただし、功労金の支給はありません。これまでのご貢献に対しては過去に株式報酬としてお支払いしています。 今後は株主の皆さまと同様に、配当や株価の上昇で報いていきたいと、精一杯努力します。

8	当日質問 (ネット)	AIデータセンターをシャープの堺工場のところに作るというニュースを見ました。どれぐらい投資するのでしょうか。そもそも収益化できるのでしょうか。	交渉中であるため、具体的な金額は現時点では決定していません。確定次第、速やかにお知らせします。 堺工場は、当社が進めている次世代社会インフラの中核拠点として最適だと考えています。今回、堺工場の土地や建物だけでなく、データセンターの稼働に必要な電源や冷却設備なども含めて譲り受ける方向で交渉を進めています。新たにデータセンターを建設する場合、土地の購入から建物の建設、電源設備の整備までを考えると、早くても3~4年、通常は5~6年かかる状況です。堺工場は早急に稼働させることが可能であり、急増しているAIデータセンターの需要に応えることができると考えています。 AIデータセンターの収益化については、次期中期経営計画の中で詳細に議論したいと考えていますので、今後の展望にご期待ください。
9	当日質問 (ネット)	株主還元および配当方針についての見解をお伺いしたいと思います。また、増配に関する考えについてもお聞かせいただけますか。	2025年度までの中期経営計画の達成については、非常に自信を持っています。そのため、余力を生かして先行投資を行うことができるようになりました。これらの先行投資が実を結んだ際には、さらに還元を増やし、株主の皆さまと喜びを分かち合いたいと考えています。
10	当日質問 (ネット)	通信各社との競争において、ソフトバンクの強みを教えてください。	当社のグループには、LINEで9,700万人、ヤフーで8,500万人、PayPayで6,400万人といった、国民の大半が利用する、国内最大規模のサービス群があります。これらとのグループ内連携が、まずは大きな差別化要因になると考えています。 また、かつて最大の弱点とされていたネットワークの品質向上に向けて、地道な努力を継続してきました。その結果、第三者機関から一貫して品質ナンバーワンと評価されるまでに至りました。 結果として、ナンバーポータビリティという同じ番号をキャリア間で移行できる制度においても、純増を続けています。この成果により、高い競争力を維持していると自負しています。 ご参考) ソフトバンクニュース スマホの“イライラ”を街からなくす。通信基盤を守る取り組みの最前線 (2023年10月4日) https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20231004_01
11	当日質問 (ネット)	私は特にAI計算基盤への投資は将来に向けて、大変重要だと思います。これらの投資は、いつ、どのような形で収益へとつなげられるとお考えでしょうか。	AI計算基盤には、さまざまな収益化の方法が考えられます。まず、GPUの計算能力を企業や研究機関に貸し出すIaaS (Infrastructure as a Service) というビジネスモデルがあります。現在、GPUの計算能力はAIの普及により、世界的に争奪戦が繰り広げられています。この分野だけでも投資回収が十分に見込めると考えています。 さらに、AI計算基盤を活用して、自社のAIプラットフォームを開発し、企業や個人に対して提供するPaaS (Platform as a Service) やSaaS (Software as a Service※) と呼ばれるビジネスモデルも存在します。これらのサービスが成長してくると、収益化が加速し、利益の増加につながると期待しています。 次期中期経営計画の中でご説明したいと考えていますので、ご期待ください。 ※ソフトバンクニュース 【SaaS】 ~1分で分かるキーワード https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20230522_01
12	当日質問 (ネット)	今後、AIの活用がどんどん進むことで電力消費が大きくなるとよく聞かれますが、ソフトバンクとしてはそれに対してどのように取り組まれますか。	AIとの共存社会において、AIを効果的に活用することが、日本の発展において非常に重要であると考えています。 一方で、ご指摘のとおり、AIの活用には多くの電力消費が伴います。この課題に対し、当社はまずはAIを活用して省エネに取り組むとともに、将来的にはエネルギーの発電側になっていきたいと考えています。
13	当日質問 (ネット)	ソフトバンクが提供するLLM (大規模言語モデル) の他社との差別化についてお伺いしたいと思います。特に、Open AIのような海外のLLMと比較して、ソフトバンクのモデルはどのように優れているのでしょうか。	当社が開発している大規模な言語モデル (LLM※) は、日本語を基盤としています。このモデルは日本の商習慣、文化、歴史などをきちんと理解し、ビジネスや日常生活で自然なやりとりが可能となる見込みです。 日本語を母国語とする方から見ても、自然な形でのコミュニケーションが実現できることは、海外のLLMとの差別化ポイントであり、強みとも考えています。今後、さらに開発を進めていく予定です。 ※ソフトバンクニュース 【LLM】 ~1分で分かるキーワード https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20231120_01
14	当日質問 (ネット)	今回役員報酬が大きく増加しているなど感じましたが、これはどのような理由によるものなのでしょうか。	今年、年間の業績に応じた報酬の他に、3年に一度の中期業績連動報酬が支給されます。取締役の報酬については、プレゼンテーション資料でもご紹介したとおり、TSR (株主総利回り) を基準とし、株主の皆さまの利益とも連動しています。 なお、中期報酬は第35回定時株主総会 (2021年6月22日) で承認されたものであり、全額を株式で支給します。 ご参考) 第35回定時株主総会決議ご通知 https://www.softbank.jp/corp/ir/stock/shareholders/2021/

15	当日質問 (ネット)	SBテクノロジーや金融子会社に関連して、親子上場に関する考え方を聞きたい。	<p>2024年6月11日にSBテクノロジー（株）のTOBが完了し、当社が100%の株式を保有する手続きを進めています。 この中で、当社グループ全体として企業価値を向上していくために、さまざまな観点からポートフォリオの見直しを行っています。 今後AIの技術者集団としての成長を期待していますし、当社のAIチームと合流させ、さらなる戦力強化を進めたい考えです。</p> <p>また、他の上場子会社についても、例えばLINEヤフー（株）、（株）ZOZO、アスクル（株）など、それぞれの上場意義があればその形態を継続し、相乗効果が期待できる場合には、統合を進めていきます。</p> <p>今後もさまざまな選択肢を検討し、最善の形を追求していきます。</p> <p>ご参考）SBテクノロジー株式会社株券等（証券コード4726）に対する公開買付けの結果に関するお知らせ https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2024/20240612_01/</p>
16	当日質問 (ネット)	10年後、20年後のスマホ契約者数をどのくらいになると想定していて、その対応策があれば発表してほしい。人口減少社会対応が聞きたい。	<p>スマートフォン契約数は、現在3,000万件を超えましたが、10年後、20年後には4,000万件、5,000万件を目指していきたいと考えています。現在、スマートフォン契約数は国内3位ですが、いつまでも3位に甘んじるつもりはありません。</p> <p>また、AIを利用するツールとしてスマートフォンは非常に有効と考えており、今後もスマートフォン契約数の増加に向け全力を尽くします。</p>
17	当日質問 (ネット)	近頃の三菱UFJ銀行、トヨタ自動車のような多くのプライム企業でガバナンスに問題が発生している。当社ではガバナンス強化に社外取締役がどうかかわっているかお聞きしたい。取締役会はその機能を果たしているか。	<p>この株主総会でご承認をいただければ、社外取締役の割合が過半数を超えることとなります。当社にはソフトバンクグループ（株）という親会社があり、LINEヤフー（株）という大きな子会社も上場しており、親子どころか孫・ひ孫まで上場しているグループです。</p> <p>このような状況において、ガバナンスの重要性は他の企業以上に高いと考えています。今後もガバナンスの強化に向けて、あらゆる課題に対して全力で取り組んでいきます。</p>
18	当日質問 (ネット)	株式分割するのはいいですが、10分割して、東京証券取引所の定めている、推奨される最低売買代金の「5万円以上、50万円以下」を大きく下回るまで分割したのはやり過ぎだと思います。4分割などは考えなかったのでしょうか。	<p>「5万円以上50万円以下」という東京証券取引所の規定についてご質問がありましたが、実際には「50万円未満」という表現になっていることを確認していますので、ガイドラインには抵触していません。</p> <p>分割数については、2分割、4分割、6分割、10分割といったあらゆるパターンを計算し、さまざまなシナリオを検討しましたが、40歳未満の株主さまが他の企業に比べて少ないというデータを重視し、当社が今後成長し続ける企業であり続けるためには、若い株主層が増えることが重要であると考え、この層が購入しやすい価格をマーケットリサーチした結果、10分割が適切であると判断しました。</p>
19	当日質問 (ネット)	LINEヤフーについて、ソフトバンクとはどのようなシナジーを目指して今後運営していくのか、改めて伺いたい。	<p>通信事業者である当社と、インターネット上のサービスを提供するLINEヤフー（株）では、それぞれ異なる強みを持っています。</p> <p>この強みを組み合わせ、競合他社との差別化を図り、共に成長してさまざまなサービスを提供していきたいと考えています。</p> <p>また、LINEヤフー（株）のサービスだけでなく、PayPay（株）の事例もあります。第2、第3のPayPay（株）のようなサービスをグループ企業と一緒に知恵を出し合い、作り上げていきたいと考えています。</p>
20	当日質問 (ネット)	首都圏震災時のBCP対策について、お聞かせください。	<p>当社は関東圏と関西圏に大きく分けて2つの監視センターを有し、ネットワーク運用部隊を2分割しています。その中で、システムをさらに3つの場所に分割し、BCP対策の一環として強固なネットワークを構築するために多大な投資を行いました。その結果、6カ所の冗長性を構成している状況です。</p> <p>したがって、首都圏で大きな地震が発生した場合でも、まずは関西に切り替えることが可能であり、関西内でも3つに分割したシステムで首都圏のデータを取り扱うことができるキャパシティを有しています。対策はしっかりと行っていますので、ご安心ください。</p>
21	当日質問 (ネット)	株価上昇に向けた取り組みについて。ソフトバンクグループ株価が上がりとてもうれしく思っています。なかなか上昇しないソフトバンク株式会社の株価も上がるように何か一手を打っていただけないでしょうか。孫取締役にお答えいただきたい。	<p>（孫取締役） ソフトバンク（株）は、公募価格が1,500円でしたが、6月20日現在は2,000円前後まで上昇し、健闘していると思います。宮川社長も述べているように、業績を向上させることが最も重要です。中期経営計画も着実に遂行しています。</p> <p>私も皆さんと同じ株主の立場ですが、ソフトバンク（株）が着実に増益を続け、その結果として株価が上昇すると確信しています。</p>

22	当日質問 (ネット)	業績拡大に向けた新規分野への投資についての考え方について教えてください。 ソフトバンクグループにおいてベンチャー企業への投資をやっていると思いますが、ソフトバンクグループと投資に関する分担をしているのか。また、ソフトバンクグループの投資先で実績が伴ってきた企業に、ソフトバンクとして投資することがあるのでしょうか。	業績拡大に向けた新規分野への投資は、積極的に取り組む所存です。携帯電話の値下げの影響も一段落し、今から本格的に攻めに転じたいと考えています。投資先は主にAI関連企業を中心として、AI関連のサービスなども含めて投資を進めたいと考えています。 (孫取締役) ソフトバンクグループ(株)は、次なる大きな挑戦を狙い、ダイナミックに仕掛けを行い、当たるも外れるも大きなリスクを伴うものですが、特に海外を中心に、新しい進化の種を見つけるスタイルです。 一方でソフトバンク(株)は、日本国内で何千万人という多くのユーザーがいるサービスをグループに抱えているという強みを生かし、着実に収益を積み上げています。日本のユーザー・投資家に、直接的にその成果をお届けするという、役割分担ではないかと考えます。 ソフトバンクグループ(株)、ソフトバンク(株)、そしてLINEヤフー(株)が三位一体となって連携することで、海外のノウハウと国内の営業力やユーザー数をミックスすることで、強力な相乗効果が期待できます。PayPay(株)のように、リスクを取りながら投資を行うことで、大きな成果を上げることもできています。 今後、特に生成AIに関しては、グループとしても海外での仕掛けを進め、国内でも次の大きな勝負どころと考えています。これからも良い意味で連携を深めていきたいです。
23	当日質問 (会場)	スマホの操作ができない人向けの社会貢献の一環として、文部科学省やデジタル庁などからの出資を受けて、スマホ教室やパソコン教室を小学校のような地域施設で開催することについて、提案します。また、楽天やその他のインターネット関連企業に対しても同様の取り組みを依頼し、第三者機構を立ち上げることについても提案したい。	当社は、年間100万回、スマホ教室を実施しております。これはソフトバンクショップや学校などで、特に高齢者や小さなお子さまに対して、無償で実施しています。 当社の理念は、年齢に関係なく情報格差が生じないようにすることです。これまでスマホに触れる機会がなかった方々に対し、積極的にスマホ教室を展開しています。 どこのショップにお越しいただいても、お声がけいただければすぐにご案内しますので、ぜひともショップにお立ち寄りください。近隣の小学校などでも同様の機会を提供しておりますが、まずはショップにご相談いただければと考えています。 今後も継続して行いますので、お気軽にご相談ください。 ご参考) 当社の取り組み デジタルデバインド(情報格差)への対応 https://www.softbank.jp/corp/sustainability/esg/social/digital-divide/
24	当日質問 (会場)	自動運転技術やSoftware Defined Vehicle (SDV)の開発において、当社が期待している役割について質問したい。当社はMONET TechnologiesやBOLDLY、Cubic Telecomといった3社に出資しており、これらの企業がそれぞれどのようにノウハウや情報を共有しているのかについてお伺いしたい。各社が異なる株主さまや出資比率を有していることから、利害関係が存在する可能性もあるが、それを超えて良質な開発を進めるために、どのような取り組みが行われているのか。	MONET Technologies(株)、BOLDLY(株)、そしてCubic Telecom Ltd.はそれぞれ異なる事業を行っています。 まず、MONET Technologies(株)は、トヨタ自動車(株)とソフトバンク(株)が立ち上げたジョイントベンチャーであり、日本の自動車メーカーが株主となり、自動運転車のプラットフォームを提供しています。このプラットフォームは、日本国内で政府と共に実証実験を行い、自動運転技術の推進を目指しています。ソフトバンク(株)は車両の製造までを目指しているわけではなく、自動運転のための接続プラットフォームの提供に重点を置いています。 一方、BOLDLY(株)は地方のバスの巡回航路に関するシステムを提供し、バスの運行に必要な基盤を支援しています。 そして、Cubic Telecom Ltd.については、当社の「Beyond Japan」構想の一環として、日本で培ったノウハウを世界に展開する取り組みです。このプロジェクトでは、日本の自動車メーカーと協力し、世界展開に向けたプラットフォーム構築を進めています。特に本田技研工業(株)(ホンダ)は短期間でプロジェクトに参加しました。 これらの活動において、各企業は異なるアプローチを取り、自動運転技術などの重要な情報は相互に共有されていますが、企業ごとに取り組む分野や戦略が異なるため、個社としての営業・機密情報管理の観点から、情報共有の範囲は制限があることをご理解いただければと思います。

25	当日質問 (会場)	ソフトバンクグループ全体の人材育成について、例えば事業開発の目利きが利く人材の育成など、どう考えているか、孫さんの考えを聞きたい。	<p>(孫取締役) 事業活動を通じた人材育成は、2つの方向から進められると考えています。一つは、現行事業における問題解決を通じた経験を積み重ねていくこと。もう一つは、既存の枠にとらわれない自由な発想から新たな事業の種を見つけることです。</p> <p>宮川社長の説明にもありましたが、生成AIが急速に成長する中、社内から知恵を結集しようと、生成AI活用コンテストを開催しました。社員から16万件のアイデアが応募され、世界でも類を見ない規模と自負しています。</p> <p>このアイデアの中から、1万件の特許出願が行われ、半年でこれだけの件数を、生成AI関連で出したのは世界一と思われまます。</p> <p>毎月驚くような内容のアイデアが出てきていますし、例えば2回連続で1位を獲得した若い営業部門の社員がいます。新卒で入社し、営業職にかかわらず技術に詳しいということで、私も驚きました。彼は、報酬金として1,000万円を受け取り、アイデアの事業化に向けて邁進しているところです。</p> <p>このように、社内から画期的なアイデアが次々と生まれていますし、非常に期待しています。</p>
26	当日質問 (会場)	生成AIが出てきたことで電力の消費量も増えることが考えられるが、ソフトバンク流の発電事業でどんな構想をしているのか聞きたい。	<p>現状多くの事柄を進め、北海道で自然エネルギーのみでデータセンターを稼働させる、という取り組みの原動力になっています。</p> <p>SMR (Small Modular Reactor: 小型モジュール炉) や核融合、水素発電など、新しい技術についても積極的に調査し、実際に現場を訪れることもありますが、現段階ではまだ発電コストの面で課題が多いという認識です。</p> <p>一方で、日本でも既に実用化している、ソーラーパネルや風力発電など、自然に近いエネルギー源に関しては、可能性があれば積極的に導入していきたいと考えています。例えば、堺工場のような広大な敷地において、ソーラーパネルを全面に設置した場合の発電量など、検証を進めています。</p> <p>今はまだ、発電をできるだけの体力がありませんから、発電事業を生業とする会社と、打ち合わせをさせていただきながら、参入をするきっかけを作っていきたいと考えております。</p> <p>(孫取締役) 国内は宮川社長がいくつか手を打ち始めていますので、ソフトバンクグループ(株)としては、生成AIの本場であるアメリカを中心に投資を行っていますが、発電については、テラスエナジー(株)(旧SBエナジー(株))で数年前から実施しています。これからさらに規模を拡大して発電量を増やしたい、ひいては世界の生成AIにも貢献したいと思っています。</p>
27	当日質問 (会場)	株主優待にまわす資金を通信の技術への投資にまわすべきではないか。	<p>当社は現在、40歳以下の株主さまが少ない状況であり、上場以来、株主数は増加していません。他社が株式分割を実施した結果、株主数が一気に倍増し、特に若年層が増加した事例があります。</p> <p>買いやすい価格で株式を提供し、さらにPayPay1,000円分のポイントを提供することで、若年層に少しでも株式投資への興味を持ってもらいたいと考えています。</p> <p>若年層の株主増加が、将来的には当社の成長に寄与すると期待しています。優待の費用規模としては年間10億円です。</p> <p>なお、研究開発費については毎年増加しており、特に通信技術も含め、AI関連投資には大きなリソースを注ぎ込んでいます。生成AIの計算基盤には数千億円単位の投資を行っていますので、ご安心ください。</p>
28	当日質問 (会場)	家電量販店やソフトバンクショップにおける男性社員への差別について。なぜ男性社員には制服の貸与がないのか。	<p>当社としては男女で差別することなく、平等を重視しています。制服に関する件については、榛葉取締役から回答します。</p> <p>(榛葉取締役) コンシューマ事業を担当しております榛葉です。まず、ご不快な思いをさせてしまったことについて深くおわびいたします。当社では、性別の違いによる差別は一切ございません。制服についてですが、例えば夏場のポロシャツなど、各店舗のスタッフや量販店の店員が使用しやすいよう、幅広い意見を基に、配布しています。今回のご意見を真摯に受け止め、再度内部で確認を行い、今後もお客さまとスタッフが満足できるよう努めます。</p> <p>〔補足：後日確認内容〕 当社では、ショップで働くクルーにアンケートを行い、その声を反映して、数年ごとにユニフォームを刷新しています。 2024年7月現在、女性には通年でユニフォーム、男性には夏はポロシャツ、冬はスーツ購入時に利用できる割引券を支給しています。導入時のアンケートにおいて、男性クルーから「好みのスーツを着用したい」という声が多かったことを踏まえての対応でした。</p> <p>なお、2025年からユニフォームを刷新することを既に決定しており、男女共に通年でユニフォームを支給する予定です。最新のアンケートの声を踏まえ、豊富なサイズ展開と男女共通でデザイン選択が可能となります。</p>

29	当日質問 (会場)	子会社 (SBクリエイティブ (株)) のサービス登録の特典がAmazonの商品券だった。PayPay経済圏の拡大を目指すならば、PayPayポイント等、グループ企業のサービスの特典付与をすべきではないか。	貴重な情報を提供いただきありがとうございます。グループ事業の連携を強化するため、月に一度、各社のCEOが集まり、活発な意見公開を行うグループシナジー会議を開催しています。とりわけPayPay経済圏の拡大は重要なテーマですので、今回の情報を受け、迅速に対応します。
30	当日質問 (会場)	高齢者ドライバーの運転リスクをAIで評価し、免許返納を促すような技術の導入を検討してもらえないか。運転挙動をセンシングしてAIがリスクを判断し、家族や医師が説得できるような仕組みを提案する。	最近では、車両のハンドル操作において、ドライバーによる操作方法の差分に関するデータ収集が進んでいます。このような情報は、先に述べたようなCubic Telecom Ltd.のプラットフォームなど、世界中からデータが集約される場においても利用可能になっています。私たちはこれらの情報を参考にしながら、新たなサービスの創出を目指しています。 常に悩みの種となるのは、ご家族とのデータ共有に関する問題です。個人情報保護法の観点からは認められておらず、また、免許返納自体がドライバーの意思決定であり、法的な規制ではないという事実もあります。 当社は特にプラットフォーム側において、影響を与える立場にありますので、交通参加者のさまざまな意見を積極的に取り入れ、広く展開していくことを考えています。
31	当日質問 (会場)	海外とのアライアンスが進んでいるが、国内でのAI関連のアライアンスについても知りたい。特に、日本語AI開発で強みを持つNTTとの協業など、国内企業とのアライアンスの進捗や計画があれば教えてほしい。	日本電信電話 (株) (NTT) をはじめとする他社や学術機関が取り組みを進めていますが、世界的なOpenAIやGeminiと比較すると、日本の生成AIは発展途上です。 当社は、チャレンジできる人材と体力があるからこそ、取り組むことを決めました。日本独自の生成AIを長期的に推進していくことが、チャンスであると考えます。 他社よりも大規模なモデルも構築できつつありますが、世界的な視点では依然として小さな位置づけにあります。国内での協業については、まだその段階には至っていませんが、将来的には可能性を見出し、具体的な実現に向けて検討していきたいと考えています。 データの連携等については、LINEヤフー (株) などさまざまなデータを保持しているグループ会社が多数あります。通信会社である当社も、一定のデータは持っています。通信会社同士で言えば、競合他社であるKDDI (株) と一緒にジョイントベンチャー (株) 5G JAPAN) を作っているような時代です。 今後の展望については予測が難しい部分もありますが、日本国内において新たな試みを模索する中で、これまでのライバルが今後のパートナーとなる可能性もあると考えています。このような状況の中で、さらに積極的に展開し、幅広い視野で取り組んでいきます。
32	当日回答ができなかった ご質問 (ネット)	スマートフォンの普及で、マナー問題が隣り合わせとなります。マナー問題は通信を販売する側としての責任はあると思われます。キャリア大手4社で、マナー向上につなげるCMを作成されませんか。	当社の取り組みとして、公式ホームページにケータイ電話を安心/安全にご利用いただくためのマナー/ルールを掲載しています。 また、ソフトバンクショップで実施しているスマホ教室においてもスマホデビューのお客さま向けにマナー/リスク講座も実施しています。 今後もお客さまへスマートフォン利用におけるマナーをご理解いただけるよう、さまざまな取り組みを実施していきます。 ご参考) 当社サイト掲載「ケータイマナー」 映画や病院ではOFF。運転中の通話は罰金に! https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/manner/usage/
33	当日回答ができなかった ご質問 (ネット)	監査役会設置会社で取締役と別に監査役が4名いらっしゃるのに取締役の人数が11名とは若干多いように感じます。取締役の人数と独立取締役と社外監査役と役割の類似性を考慮して独立取締役の人数の考え方を説明いただきたいです。	当社の取締役会は、多様な事業の持続的成長を促進し、適切な監督を行うべく、必要なスキルと経験を持つメンバーで構成しています。今回の取締役選任により、社外取締役の割合が過半数となり、社外の知見も広く取り入れられる体制を整えました。
34	当日回答ができなかった ご質問 (ネット)	変更案において、第1回~第5回の社債型種類株式数に変更がないのですが、株式分割により10倍にしないで良いのですか?という質問です。	普通株式 (証券コード: 9434) に加え、第1回社債型種類株式も東証プライム市場へ上場しています (証券コード: 94345)。 また、社債型種類株式については、定款の定めにより、法令に別段の定めがある場合を除き、株式の分割は行わないこととなっていますので、普通株式の分割に際して、社債型種類株式の分割は予定していません。

35	当日回答が できなかった ご質問 (ネット)	AIの弱点を教えてください。	<p>AIにはいくつかの弱点や課題がありますが、そのうちの一つに「ハルシネーション」があります。</p> <p>ハルシネーションは、生成AIの分野でAIが事実に基づかない情報や、実際には存在しない情報を生成する現象を指します。</p> <p>この課題を解決するためには、AIの学習データの質の向上やモデルの改善が必要です。また、利用する側もこのような生成AIの特性を理解し、情報の正誤を確認することも必要です。</p> <p>当社はこれらの弱点や課題を認識し、安全・安心なサービスの提供を目指すため、2024年4月に、社外有識者などが参画してAIの倫理に係る各種課題の議論や提言を行う「AI倫理委員会」を設立しました。</p> <p>プレスリリース：社外有識者などが参画する「AI倫理委員会」を設立 https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2024/20240430_01/</p> <p>ご参考) ソフトバンクニュース 【ハルシネーション】～1分で分かるキーワード https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20240109_01</p>
36	当日回答が できなかった ご質問 (ネット)	苫小牧データセンターでのバックアップ電源と震災、災害時のバックアップはどのようなものですか。	<p>UPS（無停電電源装置）、非常用発電機、貯水槽の設置を計画中であり、停電や水道インフラの断絶時でも数日間は安定して運用できるデータセンターを目指しています。</p> <p>ご参考) ソフトバンクのデータセンター設備概要 https://www.softbank.jp/biz/services/datacenter/equipment/</p>
37	当日回答が できなかった ご質問 (ネット)	成層圏を利用したビジネスの地球環境への影響をどのようにお考えですか。	<p>当社はソーラーとバッテリーで飛行するサステナブルなHAPS※機体の開発を進めています。そのため、成層圏および地球環境に対して与える影響は非常に少ないと考えます。</p> <p>また、機体において使用する要素技術に関しても、環境に配慮した設計を目指しています。</p> <p>※High Altitude Platform Stationの略。成層圏から通信ネットワークを提供するプラットフォーム。</p> <p>ご参考) ソフトバンクニュース 【HAPS】～1分で分かるキーワード https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20231128_01</p>
38	当日回答が できなかった ご質問 (ネット)	成長投資の計画に対して原状の配当性向の高さが足かせになるように思いますが、今後の配当性向の考え方を教えてください。	<p>当社は上場来、中長期的な成長と株主還元の両立を掲げています。当社の配当性向は81.8%（2025年3月期予想）と高い水準にありますが、社債型種類株式などにより長期性・資本性を有する資金を調達し、成長投資と株主還元の継続的な両立を目指します。</p> <p>ご参考) 株主還元・配当 https://www.softbank.jp/corp/ir/stock/performance/</p>
39	当日回答が できなかった ご質問 (ネット)	個人でも使いやすい価格でAI関連サービスを提供する予定はありますか。	<p>2024年7月1日現在、ソフトバンク、ワイモバイル、LINEMOのユーザーを対象にしたPerplexityの有料版「Perplexity Pro」の1年間無料トライアルを提供しています。「Perplexity」は専用ブラウザやアプリで利用可能なAI検索エンジンで、有料版の「Perplexity Pro」では複数の大規模言語モデルを選べます。今後もお客さまに満足いただけるようなサービスを展開したいと考えています。</p> <p>ご参考) ソフトバンクニュース AIで検索の常識が変わる！ AI検索エンジン「Perplexity」と戦略的提携を発表 https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20240614_02</p> <p>Perplexityのお申し込み https://www.softbank.jp/mobile/service/perplexity-ai/</p>